

令和8年（2026）1月 入域観光客数概況（確定版）

83万6,000人
対前年（R7）同月比 +5万2,600人、+6.7%
～1月としては過去最高～

【更新履歴】①令和8年2月25日速報版公表
②令和8年4月27日確定版公表

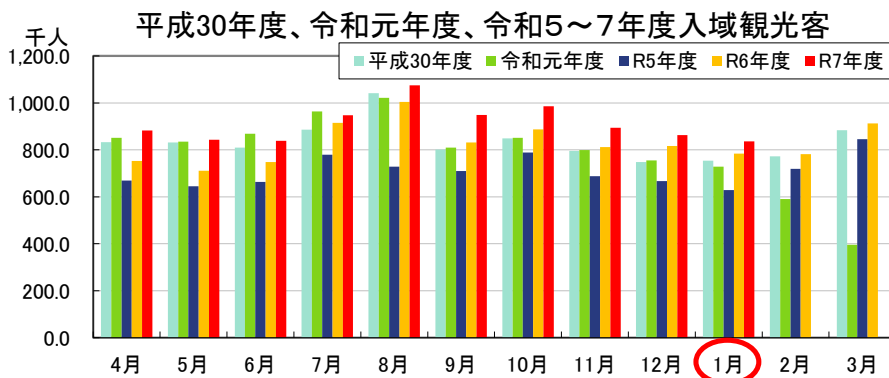
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、4月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※H30年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※H30年度
国内客	601,400人	566,800人	+ 34,600人	+ 6.1%	71.9%	523,700人
空路	599,700人	565,100人	+ 34,600人	+ 6.1%	71.7%	521,600人
海路	1,700人	1,700人	+ 0人	+ 0.0%	0.2%	2,100人
外国客	234,600人	216,600人	+ 18,000人	+ 8.3%	28.1%	229,800人
空路	168,900人	148,400人	+ 20,500人	+ 13.8%	20.2%	150,300人
海路	65,700人	68,200人	△ 2,500人	△ 3.7%	7.9%	79,500人
合計	836,000人	783,400人	+ 52,600人	+ 6.7%	100.0%	753,500人

※外国客には、海路における乗務員等22,100人を含む。



国内客 入域状況

1月は、年始の需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便や地方発着のチャーター便の運航があったことのほか、Jリーグサッカーキャンプ等の県内イベントの開催により、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	294,500人	274,400人	+ 20,100人	+ 7.3%	49.0%
関西方面	120,000人	116,500人	+ 3,500人	+ 3.0%	20.0%
福岡方面	78,000人	73,000人	+ 5,000人	+ 6.8%	13.0%
名古屋	54,500人	48,000人	+ 6,500人	+ 13.5%	9.1%
その他	54,400人	54,900人	△ 500人	△ 0.9%	9.0%
合計	601,400人	566,800人	+ 34,600人	+ 6.1%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	17,600	54%	13,500	58%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	3,100	9%	2,000	9%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	5,700	18%	4,100	18%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	400	1%	300	1%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	100	0%	200	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	5,600	17%	3,100	13%	
合計	32,500	100%	23,200	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。
 ※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

1月は、年始の需要の高まりに加え、台湾・香港発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年同月を上回った。特に、台湾・韓国からの観光客は過去最多を記録し、外国客総数においても過去最多となった。

トピック ▶【台湾】タイガーエア台湾は石垣ー台北路線(6月1日～)を週2便から週4便に増便予定。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	92,500人	63,100人	+29,400人	+46.6%	39.4%
韓国	64,000人	60,500人	+3,500人	+5.8%	27.3%
中国本土	8,800人	41,500人	△32,700人	△78.8%	3.8%
香港	20,700人	15,500人	+5,200人	+33.5%	8.8%
アメリカ	2,900人	3,600人	△700人	△19.4%	1.2%
タイ	2,100人	1,500人	+600人	+40.0%	0.9%
シンガポール	2,500人	1,900人	+600人	+31.6%	1.1%
その他	41,100人	29,000人	+12,100人	+41.7%	17.5%
合計	234,600人	216,600人	+18,000人	+8.3%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等22,100人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	80,100人	59,000人	+35.8%	47.4%	12,400人	4,100人	+202.4%	18.9%
韓国	61,400人	51,300人	+19.7%	36.4%	2,600人	9,200人	△71.7%	4.0%
中国本土	4,600人	16,100人	△71.4%	2.7%	4,200人	25,400人	△83.5%	6.4%
香港	12,100人	12,500人	△3.2%	7.2%	8,600人	3,000人	+186.7%	13.1%
アメリカ	1,900人	1,700人	+11.8%	1.1%	1,000人	1,900人	△47.4%	1.5%
タイ	1,500人	1,400人	+7.1%	0.9%	600人	100人	500.0%	0.9%
シンガポール	1,900人	1,800人	+5.6%	1.1%	600人	100人	+500.0%	0.9%
その他	5,400人	4,600人	+17.4%	3.2%	35,700人	24,400人	+46.3%	54.3%
合計	168,900人	148,400人	+13.8%	100.0%	65,700人	68,200人	△3.7%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等22,100人を含む。

外国客の地域構成比

